

保育・教育におけるICTの活用とその可能性

島田 由紀子

二〇一九年に文部科学省から示された新しい教職課程コアカリキュラムでは、保育内容の指導法において「情報機器及び教材の活用」を理解し保育の構想に活用することが求められている。さらに、二〇二〇年度スタートの小学校の学習指導要領で、情報活用能力の育成とICT（情報通信技術）の活用が掲げられた。この直後に緊急事態宣言（新型コロナウイルス対策）が発出され、ICTを活用した遠隔による保育活動や授業が全国的に実施されることとなった。

今日、ICTを活用した保育や教育は日常的に行われており、子どもの遊びや学びにとって大きな利点と考えられる。

外国籍の子どものコミュニケーションにおいてもICTの導入によって大きく変化している。子どもと保育者や教師が、スマートフォンによる会話の翻訳機能を紹介し、思いや考えを伝えあうことで、クラスで孤立することなく子どもの気持ちや遊びを支えることにつながっている。また、連絡やお便りは、翻訳機能を利用することで保護者の母国語による伝達が容易となり、保育者や教師の負担も軽減されている。

この活用により、外国籍の保護者の不安やニーズを幼稚園等や学校側が把握し、外国籍の保護者は幼稚園等や学校、保育者や教師の指導について理解できる。また、病気や障害により通園・通学が難しい子どもとも、画面を通じて一緒に遊んだり学習したりすることが日常的に行われてきている。一方で、保育者や教師が画像や映像に記録すること優先したり過信したりする

ることで、目の前にいる子どもの気持ちやクラスの実態を把握することがおぼろしくなることがないよう配慮することが大切である。また、指導計画を立てる際にAIを使用する場合や、教職員間での情報共有では個人情報について十分留意する。ICTの活用は、直接的な体験を補完するためのものである。しかし、いつの間にかICTによる間接的な体験が、実際に経験したこと置き換わってしまうことのないようにすることが大切である。

直接的な体験に置きを置きながら、子どもたちの資質・能力に必要な「3つの柱（個別の知能・技術、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性等）に基づく学びを育み、主体的・対話的で深い学びにつながるよう、保育者や教師はICTの活用とその可能性について考え、実践することが大切である。（國學院大学教授）

国際社会における栄養問題への取り組み

水元 芳

世界の栄養問題は、二〇一五年の国連サミットで採択された持続可能な開発目標（SDG）における保健（SDG3）と栄養（SDG2）の分野（目標2・飢餓をゼロに）のそれぞれターゲットに「栄養」の文言が盛り込まれ、具体的な指標が設定されている。一方、SDGの前身である二〇〇〇年から二〇一五年までのミレニアム開発目標（MDGs）において、目標のターゲットに「栄養」の文言は含まれてはいなかった。

国際社会共通の目標の中に、文言が入ることには大きな意味がある。MDGからSDGまでの間、世界の食料問題について、一九二九年の世界大恐慌を機に様々な議論が行われてきた。その中心のテーマは長きにわたり食料の量的確保であったが、一九九六年の世界食料サミットで、フードセキュリティも人権の一環であると明確に示されて以降、フードセキュリティの議論は「量」の問題に加えて栄養面を考慮した「質」に及ぶ発展をみせている。この時期、気候変動による食料問題の深刻化に伴って、フードセキュリティへの関心が高ま

り、栄養問題もこれまで以上に関心を集めるようになった。二〇〇〇年代に入り、栄養問題の解決による経済効果の高さが広く認識された。このことも国際社会で栄養への注目度を高める後押しとなった。二〇一〇年以降に国連世界食糧計画（WFP）が国別に次々と発表した、栄養不良による生産性低下や医療コストのGDP換算に対して、二〇一三年、当時の国連食糧農業機関（FAO）事務局長は、栄養不良の世界経済に対する損失コスト（世界の総生産額の約五パーセントに相当する三兆五千億ドル）を「許容しがたい大きさ」と表現している。

SDGの各目標は、単独ではなく相互に関連性をもっている。栄養問題もまた、様々な課題と関連した重要な課題であるという認識の拡大と浸透が、現在のSDGの文言に反映されたのだと考える。紛争や自然災害発生時に食料援助を担うWFPや、コロナ禍の飢餓人口増加でその必要性が浮き彫りになったフードシステム変革に取り組むFAOもまた、栄養面に配慮した食料を強調している。

二〇二〇年にはWFPやFAOを含む国連5機関からなる「国連栄養（UN Nutrition）」が設立され、世界の栄養問題は、現在マールセクターで取り組まれている。（中村学園大学教授）

介護離職を防ぐマネジメントへ

奥田 都子

長寿社会において「介護は誰にでも起こり得る。核家族の共働き世帯が主流となった今、実子やその配偶者が無償の介護労働を担うことは容易ではなく、「介護は地域で」という流れの中で、配偶者の親の介護のために仕事を辞めるという選択肢は選ばれにくくなった。既婚・未婚を問わず介護責任を免れ得ない時代が到来し、男女問わず親の介護をしながら仕事を辞めずに両立できる働き方と生活のマネジメントが模索されている。

仕事と介護を両立するための支援制度は、育児・介護休業法に設けられているが、介護離職は毎年十万人前後にのぼる。介護休業は、対象家族一人につき最大で九十三日取得できるが、介護の平均期間である五年に比べるとずいぶん短い設定である。この期間を活用して、要介護の手続きを進め、適切な介護サービスを選定し、在宅介護の環境の整備、あるいは施設入居

が高額な有料老人ホームにしか空きがない。空きを持つ間を在宅介護サービスでしのぐにしても、休業期間が残らずかかると、高額な利用料だがサービスの手厚い施設か、人員配置やサービスが不安だが低額の施設か、離職して自ら介護するかの選択に迫られる。ある五十代男性の場合、独居の

の同居もやむなしと実家売却による資金確保に奔走するも、売却交渉が長期化した。その結果、休職とならざるを得なかった。このように待機期間の長期化や要介護状態の進行、入居資金調達の困難、介護をめぐるストレスなどによって、九十三日以内に復職できないケースは少なくないと思

われる。事例の男性は、資金調達と認知症介護の二重負担で心身の不調を生じ、傷病休暇に切り替えた。その九か月後に母親は入所できたが、自身の回復に時間を要し、傷病休暇満了後も復職せず、残念ながら離職に至っている。

多様な要因が絡む介護離職を防ぐには、働く側が介護に備えて生活設計するだけでなく、雇用側にも九十三日の分割方法や、短時間勤務の有効な活用方法などについて個別事情に即した相談体制が必要である。ケアマネジャーや介護福祉職は、介護への助言はできても、介護者の働き方については専門外である。準備期間のある育児休業と異なり、介護は突然にやってくることも少なくない。介護による心理的・経済的負担のため介護離職に至る前に、介護休業の取り方についても親身に相談に応じる体制が求められる。

（静岡県立大学短期大学部准教授）

新刊教科書

Nブックス スポーツ栄養学

高田和子 編著

健康・スポーツ保健分野のための健康管理概論

香川靖雄 監修
松本泉美 吉澤剛士 編著

分子栄養学

叶内宏明 山内 明 編著

公衆栄養学・栄養疫学実習

石原淳子 高地利りべか 編著

統計情報処理入門

緒方裕光 編著

現代食文化論

小川聖子 野林厚志 編著

2024年版（2019〜2023年度実施分）

栄養士実力認定試験過去問題集

全国栄養士養成施設協会 編

A4判／96頁（別冊解答・解説5年分付）1320円

フードスペシャリスト資格認定試験過去問題集

日本フードスペシャリスト協会 編

A4判／100頁（別冊解答・解説5年分付）1430円

教職ライブラリ 教育原理

佐藤 環・姜田隆昭 編著

美術科教育の基礎

福田隆興・福本謙一 監修

コンパスシリーズ 保育の心理学

寺見陽子 編著

身体表現の現

岡澤哲子・遠藤 晶 編著

ICT×保育を考える 保育内容総論

香賀我部琢 駒入美子 編著

カリキュラム論

中原朋生・池田隆英 編著

生活支援の基礎を学ぶ

奥田都子 編著

観光経営学入門

千葉千枝子 編著

建帛社HPからのダウンロード販売も開始しました

Exciteアドイン栄養プラス® Ver.1.5

定価 28600円

高田和子・石田裕美・石原淳子 監修

日本食品標準成分表（八訂）増補2023年 対応

「栄養プラス」オプションソフト

食物摂取頻度調査票FFQ NEXT

定価 6600円

国立がん研究センター 著作 石原淳子・高地利りべか 監修

・栄養素等摂取量の多少による集団内でのランク付に最適。次世代多目的コホート研究（JPHC-NEXT）にて開発された調査票をソフト化。・紙媒体、Web回答フォーム、エクセルシートといった、多様な方法で回答収集が可能。

令和四年改正児童福祉法の 施行でめざすもの

所 貞 之

平成二八年の児童福祉法改正で子どもの権利保障を法理念として明確にしたことと、それを実現する制度整備が本格化した。「新しい社会的養育ビジョン」の公表、児童福祉法上の体罰禁止の明記、こども家庭庁の創設や「異次元の少子化対策」と銘打った「こども未来戦略」の公表等、近年、子ども家庭福祉の動きが激しい。

令和四年六月の児童福祉法改正もその流れだが、内容としては①市町村の子育て家庭への支援の充実、②一時保護の運営改善(一時保護開始時の司法審査の導入等)、③児童相談所の支援強化(親子再統合支援事業等の新設、里親支援センターの設置)、④社会的養育

経験者の自立支援(児童自立生活援助事業の年齢要件等の弾力化、社会的養護自立支援拠点事業の新設)、⑤子どもの意見聴取等を行う環境整備、⑥「こども家庭ソーシャルワーカー」の認定資格の導入、⑦子どもをいせつ行為から守る環境整備、⑧障害児施策の体系の強化等であった。

この改正は、すべての子どもや子育て家庭を対象とする包括的な支援体制の強化をめざしている。これは子ども家庭福祉における、ポピュレーションアプローチとしての子育て支援からハイリスクアプローチとしての社会的養護に至る施策体系の強化といえる。

予防医学の概念に従うと子ども家庭福祉の施策は、主に地域の子育て支援が「未然防止(一次予防)」、要保護児童を対象とする社会的養護が「再発防止(二次予防)」に位置づく。

改正により、従来手薄であった「悪化防止(二次予防)」の施策の拡充が図られている。生活課題を抱えている状況がすでに発見されている者、つまり、保護者への養育支援が特に必要と認められる「要支援児童」「出産前からの支援が特に必要と認められる「特定妊婦」を対象とした支援の拡充である。

ヘルスケアサービスにおけるエビデンス構築への産業保健分野のデータ活用

国民の健康づくり対策である「健康日本21(第三次)」は、二番目の目標として「個人の行動と健康状態の改善」を掲げ、今年度から開始されている。この目標は、一次予防としての生活習慣の改善に該当し、設定の指標には、先行研究による科学的根拠(以下、エビデンス)が用いられて

ある「健康日本21(第三次)」は、二番目の目標として「個人の行動と健康状態の改善」を掲げ、今年度から開始されている。この目標は、一次予防としての生活習慣の改善に該当し、設定の指標には、先行研究による科学的根拠(以下、エビデンス)が用いられて

介入研究を必要とし、その研究成果としてのエビデンス構築が喫緊の課題となっている。

行政が住民に提供する保健事業としてのヘルスケアサービスがある。例えば、運動や食事・喫煙習慣の改善を目的とした介入である各種教室は、参加者が少数で、参加者の均一化や対照群の設定、継続的な追跡調査が難しく、質の高いエビデンスを得ることが困難である。また、文部科学省や厚生労働省の科学研究助成を活用した多様な介入研究にも展開されているが、研究の特殊性や対象者規模から質的に有用なエビデンスが確保できているとはいえない状況である。

そこで着目したいのが、産業保健分野で展開されている「健康経営」である。これは、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、組織ぐるみで戦略的に実践するヘルスプロモーション活動である。大企業であれば数万単位、中小企業であれば数千単位、小規模な事業者でも健康診断受診率が百パーセントという目標を柱に、食生活・運動・喫煙等の健康課題への介入が、従業員へのヘルスケアサービスとして行われている。

また、社会的認知にもつながる、特に優良な健康経営を実践している法人に与えられる「健康経営優良法人認定」を受けるためには、実施内容とその結果を申請書に記述する必要がある。そのため、企業は創意工夫を凝らした多様な取り組みを展開し、従業員全員が参加できる取り組みがどのように行われているかを確認でき、結果まで可視化可能なアプリ開発も盛んに行われている。

私は長年、鶏卵の加工・調理に伴う構造変化についての研究を続けてきました。現在は、キユーピー(株)・東京家政大学共同研究講座としてタマゴのおいしさ研究所を開発し、卵の消費量向上に伴う啓発活動を行っています。その活動は、鶏卵に関する月一回のメールマガジンの発信と動画(YouTube)の製作や配信、講演会や商品開発などです。

講演や研究活動が続いているうちに、消費者の疑問に答えられない家政学分野の研究者ではないかと思うようになり、生活に結びつく身近なことを中心に、消費者が質問したいことや自分が疑問に思っていることをテーマにとりあげています。また動画では、鶏卵の正しい情報とそのエビデンスを消費者に理解してもらえようというテーマで作成しています。例えば、ゆで卵の殻をむきやすくする方法とそのメカニズム、卵黄は赤みがある色の方がおいしくみえるのが本当か、また、卵の保存方法では

対して家事や養育に関する援助を行う。児童育成支援拠点事業は、虐待リスクが高い、不登校である等、養育環境等の課題を抱える子どもを対象に、学校や家以外の居場所づくりを支援する。親子関係形成支援事業は、要支援児童とその保護者等を対象にペアレントト

レーニング等を通じて親子間の適切な関係性の構築をめざす。妊産婦等生活援助事業は、特定妊婦等に一時的な住居や食事提供等の日常生活の支援、養育等にかかわる相談・助言等を行う。これら事業を含む改正内容の大部分は今年度より施行されている。依然として

何をどのように介入すれば、よりよい効果が得られるのかということ重視するうえで、このエビデンスを確保することが重要となる。そのためには、疫学手法としての大規模なコホート研究による生活習慣と疾患罹患の関連特定以外にも、日本人を対象とした

介入研究を必要とし、その研究成果としてのエビデンス構築が喫緊の課題となっている。

行政が住民に提供する保健事業としてのヘルスケアサービスがある。例えば、運動や食事・喫煙習慣の改善を目的とした介入である各種教室は、参加者が少数で、参加者の均一化や対照群の設定、継続的な追跡調査が難しく、質の高いエビデンスを得ることが困難である。また、文部科学省や厚生労働省の科学研究助成を活用した多様な介入研究にも展開されているが、研究の特殊性や対象者規模から質的に有用なエビデンスが確保できているとはいえない状況である。

筆者は、中小企業労働者の健康支援の研究でこの健康経営の研究に取り組んでいる。近年、中小企業においても健康経営参画が増大しており、介入の質と結果の整合性の確認等、課題があるものの、このビッグデータの活用は日本人を対象としたエビデンス構築が可能であると考えている。

健康経営参画が増大しており、介入の質と結果の整合性の確認等、課題があるものの、このビッグデータの活用は日本人を対象としたエビデンス構築が可能であると考えている。

健康経営参画が増大しており、介入の質と結果の整合性の確認等、課題があるものの、このビッグデータの活用は日本人を対象としたエビデンス構築が可能であると考えている。

以前、食旅行として千葉県銚子市を訪れました。そこには、魚のすり身を入れない、まるでプリンのような伊達巻があるのを知り、その関連でいろいろ調べていると、宮崎県にも同じようなものが「卵焼き」として存在していました。

以前、食旅行として千葉県銚子市を訪れました。そこには、魚のすり身を入れない、まるでプリンのような伊達巻があるのを知り、その関連でいろいろ調べていると、宮崎県にも同じようなものが「卵焼き」として存在していました。

以前、食旅行として千葉県銚子市を訪れました。そこには、魚のすり身を入れない、まるでプリンのような伊達巻があるのを知り、その関連でいろいろ調べていると、宮崎県にも同じようなものが「卵焼き」として存在していました。

以前、食旅行として千葉県銚子市を訪れました。そこには、魚のすり身を入れない、まるでプリンのような伊達巻があるのを知り、その関連でいろいろ調べていると、宮崎県にも同じようなものが「卵焼き」として存在していました。

以前、食旅行として千葉県銚子市を訪れました。そこには、魚のすり身を入れない、まるでプリンのような伊達巻があるのを知り、その関連でいろいろ調べていると、宮崎県にも同じようなものが「卵焼き」として存在していました。

以前、食旅行として千葉県銚子市を訪れました。そこには、魚のすり身を入れない、まるでプリンのような伊達巻があるのを知り、その関連でいろいろ調べていると、宮崎県にも同じようなものが「卵焼き」として存在していました。

以前、食旅行として千葉県銚子市を訪れました。そこには、魚のすり身を入れない、まるでプリンのような伊達巻があるのを知り、その関連でいろいろ調べていると、宮崎県にも同じようなものが「卵焼き」として存在していました。

以前、食旅行として千葉県銚子市を訪れました。そこには、魚のすり身を入れない、まるでプリンのような伊達巻があるのを知り、その関連でいろいろ調べていると、宮崎県にも同じようなものが「卵焼き」として存在していました。

以前、食旅行として千葉県銚子市を訪れました。そこには、魚のすり身を入れない、まるでプリンのような伊達巻があるのを知り、その関連でいろいろ調べていると、宮崎県にも同じようなものが「卵焼き」として存在していました。

家政・生活科学のおもしろさ

卵の研究を通じて

峯木 眞知子

た。卵焼きといえば、江戸料理を紹介している書籍に、「卵(たまご)ふわふわ」と称する料理があります。静岡県袋井市では町おこしとしてこの料理を再現し、土鍋を寄進する人が多く、卵白はフレスコ画の絵の具や洗濯糊などに使用し、その残った卵黄を修道女が工夫してお菓子をつくったといわ

た。卵焼きといえば、江戸料理を紹介している書籍に、「卵(たまご)ふわふわ」と称する料理があります。静岡県袋井市では町おこしとしてこの料理を再現し、土鍋を寄進する人が多く、卵白はフレスコ画の絵の具や洗濯糊などに使用し、その残った卵黄を修道女が工夫してお菓子をつくったといわ

た。卵焼きといえば、江戸料理を紹介している書籍に、「卵(たまご)ふわふわ」と称する料理があります。静岡県袋井市では町おこしとしてこの料理を再現し、土鍋を寄進する人が多く、卵白はフレスコ画の絵の具や洗濯糊などに使用し、その残った卵黄を修道女が工夫してお菓子をつくったといわ

た。卵焼きといえば、江戸料理を紹介している書籍に、「卵(たまご)ふわふわ」と称する料理があります。静岡県袋井市では町おこしとしてこの料理を再現し、土鍋を寄進する人が多く、卵白はフレスコ画の絵の具や洗濯糊などに使用し、その残った卵黄を修道女が工夫してお菓子をつくったといわ

た。卵焼きといえば、江戸料理を紹介している書籍に、「卵(たまご)ふわふわ」と称する料理があります。静岡県袋井市では町おこしとしてこの料理を再現し、土鍋を寄進する人が多く、卵白はフレスコ画の絵の具や洗濯糊などに使用し、その残った卵黄を修道女が工夫してお菓子をつくったといわ

た。卵焼きといえば、江戸料理を紹介している書籍に、「卵(たまご)ふわふわ」と称する料理があります。静岡県袋井市では町おこしとしてこの料理を再現し、土鍋を寄進する人が多く、卵白はフレスコ画の絵の具や洗濯糊などに使用し、その残った卵黄を修道女が工夫してお菓子をつくったといわ

た。卵焼きといえば、江戸料理を紹介している書籍に、「卵(たまご)ふわふわ」と称する料理があります。静岡県袋井市では町おこしとしてこの料理を再現し、土鍋を寄進する人が多く、卵白はフレスコ画の絵の具や洗濯糊などに使用し、その残った卵黄を修道女が工夫してお菓子をつくったといわ

た。卵焼きといえば、江戸料理を紹介している書籍に、「卵(たまご)ふわふわ」と称する料理があります。静岡県袋井市では町おこしとしてこの料理を再現し、土鍋を寄進する人が多く、卵白はフレスコ画の絵の具や洗濯糊などに使用し、その残った卵黄を修道女が工夫してお菓子をつくったといわ

改訂教科書

Nブックス 六訂 公衆衛生学	後藤政幸・田口良子 編著	B5 248頁 3190円
Nブックス 六訂 公衆栄養学(第3版)	井上浩一・小林実夏 編著	B5 232頁 3080円
管理栄養士講座 三訂 公衆衛生学(第5版)	伊達ちぐさ・松村康弘 編著	B5 288頁 4400円
三訂 社会環境と健康・公衆衛生学 カレント	北田善三・須崎 尚 編著	B5 216頁 2970円
改訂 公衆栄養学(第3版) カレント	由田克士・荒井裕介 編著	B5 224頁 3080円
食と健康 三訂 マスター食品学Ⅰ(第2版)	小関正道・鍋谷浩志 編著	B5 200頁 3080円
食と健康 三訂 マスター食品学Ⅱ(第2版)	小関正道・吉川秀樹 編著	B5 184頁 2970円
四訂 応用栄養学実習(第3版) ケーススタディで学ぶ栄養マネジメント	五関正江・小林三智子 編著	B5 216頁 3190円
四訂 マスター栄養教育論 フローチャートで学ぶ	佐藤香苗・安達南美子 編著	B5 192頁 3080円
改訂 栄養教育論実習(第2版)	橘ゆかり・森美奈子 編著	B5 104頁 別冊40頁 2640円
四訂 食品の官能評価・鑑別演習	日本フード スペシャリスト協会 編	A5 280頁 2640円
シードブック 子ども家庭支援論(第2版)	松村和子 編著	A5 208頁 2200円
保育者が学ぶ 改訂 子ども家庭支援論	植木信一 編著	A5 176頁 2090円
三訂 はじめて学ぶ社会福祉 子どもの保健(第2版)	小野澤昇・島田 肇 編著	A5 208頁 2200円
福祉ライブ러리 三訂 社会 保障	堀 浩樹・梶 美保 編著	B5 144頁 2090円
川村匡由 編著	A5 264頁 3190円	
近刊案内 令和6年9月・12月刊行予定 予価10%増、変更する場合がござい ます。		
栄養疫学 食と健康のデータサイエンスⅠ	栗木清典 編著	B5 176頁 予価2970円
生物・化学 100項目でマスター	山本祐司・大石祐一 編著	B5 208頁 予価2860円
給食経営管理実習(仮)	大原栄二・近江雅代 編著	B5 144頁 予価2420円
根柢く伸びる養育する子どもの遊び 主体性をはぐくむ保育の方法とICTの活用	宮城教育大学附属幼稚園 編	B5 112頁 予価2200円